



2021年度第2四半期 決算説明資料

- 2021年1月～6月 -

CAC 株式会社 CAC Holdings

目次

1. 2021年度 第2四半期 決算概況
2. セグメント別概況
3. CACクロアの株式譲渡とDXビジネスへの取り組みについて
4. 通期業績予想の修正について
5. 参考データ

1

2021年度 第2四半期 決算概況

連結業績概況

セグメント別売上高・利益

セグメント別受注高・受注残高

連結業績概況

単位：百万円

	2020年2Q	2021年2Q	前年同期比		2021年度 対業前予想	
			増減額	増減率	業前予想 前初予想=1	進捗率
売上高	24,139	26,082	+1,943	+8.0%	51,000	51.1%
売上総利益	5,350	6,584	+1,234	+23.1%	-	-
(対売上比)	22.2%	25.2%	3.1pt	-	-	-
販管費	4,425	4,198	▲235	▲5.3%	-	-
営業利益	924	2,394	+1,470	+159.0%	2,600	92.1%
(対売上比)	3.8%	9.2%	5.4pt	-	5.1%	-
経常利益	976	2,307	+1,331	+136.4%	2,500	92.3%
(対売上比)	4.0%	8.8%	4.8pt	-	4.9%	-
特別利益	0	272	+271	+29,551.7%	-	-
特別損失	58	2	▲55	▲95.9%	-	-
特別利益(計)	▲57	269	+327	-	-	-
四半期純利益※1	535	1,681	+1,146	+214.2%	1,700	98.9%
(対売上比)	2.2%	6.4%	4.2pt	-	3.3%	-
受注高	24,608	34,032	+9,423	+38.3%	-	-
受注残高※3	11,849	14,041	+2,192	+18.5%	-	-

※1: 2021年2月14日に公表した通期業績予想(期前予想)を記載

※2: 親会社株主に帰属する四半期純利益

※3: CROセグメントを構成するCACクロア株式譲渡に伴い、当第2四半期および前第2四半期において、CROセグメントの数値を除外し算出

前年同期比概況

売上高:

国内IT事業は連結除外の影響があったものの、中核子会社が伸長し増収、CRO事業も増収

営業利益:

増収の影響に加え、国内IT事業での稼働率向上、CRO事業の赤字解消等により大幅増

特別利益:

CRO子会社のCACクロア(現: EPクロア)の株式譲渡により関係会社株式売却益を計上

業績予想比概況

売上高:

堅調な進捗により、ほぼ計画通りの進捗

利益:

海外IT事業が新型コロナの影響等で計画を下回ったものの、

国内IT事業での大型案件の堅調な進捗や、CRO事業での赤字解消と大型案件などにより、

期初の予定を大幅に上回り、想定以上の進捗

【売上高】

連結除外(シーエーシーナレッジ)の影響はあるものの、中核企業のCACおよびCACクロアの大幅な増収増益により増加

【売上総利益】

売上の増加に伴って伸長
販管費は若干圧縮(前年同期比▲5.3%)

【営業利益】

CACクロア、およびCACの増収により増益
また、国内ITのCACでは稼働率の向上なども有

【特別利益】

CACクロアの売却益(2.7億円)を計上

【受注高】

売上高同様、CACおよびCACクロアの大幅な伸びにより38%の増加

【受注残高】

※CACクロアの譲渡に伴い、2020年の数値はCACクロアの数値を除いた形で掲載している

国内ITが大幅に増加していて、結果的に前年同期比18.5%増となった。

セグメント別売上高・利益

売上高 単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	16,083	66.6%	16,377	62.8%	+294	+1.8%
海外IT	4,641	19.2%	4,862	18.6%	+221	+4.8%
CRO	3,414	14.2%	4,841	18.6%	+1,427	+41.8%
合計	24,139	100.0%	26,082	100.0%	+1,943	+8.0%

セグメント利益

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	959	6.0%	1,324	8.1%	+365	+38.1%
海外IT	274	5.9%	257	5.3%	▲16	▲6.2%
CRO	▲309	-	812	16.8%	+1,121	-
合計	924	3.8%	2,394	9.2%	+1,470	+159.0%

【売上高】

全てのセグメントで増収

特にCROが大幅に増加したことにより、国内IT：海外IT：CROの構成比が6：2：2と若干ではあるが変化した

【セグメント利益】

海外ITが若干減少も国内ITとCROが増収に伴う増益であったため、全体的としては大きく増加した

セグメント別受注高・受注残高

受注高 単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	16,468	66.9%	18,843	55.3%	+2,374	+14.4%
海外IT	5,171	21.0%	5,977	17.6%	+806	+15.6%
CRO	2,968	12.1%	9,211	27.1%	+6,242	+210.3%
合計	24,608	100.0%	34,032	100.0%	+9,423	+38.3%

受注残高 ※

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	7,770	65.6%	9,931	70.7%	+2,160	+27.8%
海外IT	4,078	34.4%	4,109	29.3%	+31	+0.8%
合計	11,849	100.0%	14,041	100.0%	+2,192	+18.5%

※ CROセグメントを構成するCACクロアの株式譲渡に伴い、当第2四半期および前第2四半期の受注残高はCROを除外して算出しています。

【受注高】

国内ITとCROが大幅に増加（海外ITも増加）

【受注残高】

海外ITは微増だが国内ITでCACの好調により増加



2

セグメント別概況

国内IT事業
海外IT事業
CRO事業

セグメント別概況 国内IT事業

単位：百万円

	2020年2Q	2021年2Q	前年同期比	
受注高	16,468	18,843	+2,374	+14.4%
売上高	16,083	16,377	+294	+1.8%
セグメント利益	959	1,324	+365	+38.1%
利益率	6.0%	8.1%	-	+2.1%
受注残高	7,770	9,931	+2,160	+27.8%

概況

- 受注高・受注残高は製薬向けの大型案件により大幅増
- 連結除外の影響はあるものの、中核子会社のシーエーシーで製薬向け売上高が大きく伸びたほか、全業種が増収となるなど堅調に推移
- 増収に加え、技術者の稼働率も向上したことで増益

【受注高・受注残高】

製薬向けの大型案件により大幅増加

【売上高】

連結除外の影響はあるものの、CACで製薬向けの売上が大きく伸びたこと、地銀向けの大型案件や産業向けの中型から大型の案件がいくつかとれたことで、全業種で増収となるなど堅調に推移

【セグメント利益】

売上に伴い大幅に増加

【利益率】

利益構造も改善、技術者の稼働率の向上も寄与

セグメント別概況 海外IT事業

単位：百万円

	2020年2Q	2021年2Q	前年同期比	
受注高	5,171	5,977	+806	+15.6%
売上高	4,641	4,862	+221	+4.8%
セグメント利益	274	257	▲16	▲6.2%
利益率	5.9%	5.3%	-	▲0.6%
受注残高	4,078	4,109	+31	+0.8%

概況

- 受注高は、インドやインドネシア子会社の情報・通信向けが伸長し、増加
- 売上高は微増となったものの、インドネシア子会社の利益が前年同期は第1四半期に偏重していたことなどから減益
- 受注残高は前年並み

【受注高】

インドやインドネシア子会社の情報・通信向け事業が伸長し、増加

【売上高・セグメント利益】

微増となったものの、セグメント利益については、インドネシア子会社の利益が前年同期は第1四半期に偏重していたことなどから反動を受けて微減

【受注残高】

前年並み

セグメント別概況 CRO事業

単位：百万円

	2020年2Q	2021年2Q	前年同季比	
受注高	2,968	9,211	+6,242	+210.3%
売上高	3,414	4,841	+1,427	+41.8%
セグメント利益	▲309	812	+1,121	-
利益率	-	16.8%	-	-

概況

- 大型案件の獲得、堅調な推移により、受注高・売上高は大幅増
- 増収に伴う増益に加え、事業構造改革推進により収益性も改善

CRO事業を行うCACクロアは本年6月末で売却済だが、第2四半期（2021年1月～6月）までの業績が今期の当社連結に計上されている

【受注高】

特需のため、大幅に伸長

【売上高】

ワクチン関連の特需があり大幅増

【セグメント利益】

売上げの伸びに加え、前年度から行っていた事業構造改革が奏功し、大幅増益

CACクロアの株式譲渡と DXビジネスへの取り組みについて

CRO事業会社（株式会社CACクロア※）譲渡の経緯

概要 CACクロアをCRO国内最大手のイーピーエス株式会社へ譲渡

- 2021年4月27日公表（適時開示）
- 当社グループでCRO事業を担うCACクロアの全株式をイーピーエス社に譲渡することを決定
- 売却価格は30億円
- 2021年6月30日に譲渡完了

譲渡理由 経営資源をDX推進に集中

- 当社の経営資源を当社グループのコアであるIT事業におけるDX推進に集中するため
- CRO業界の厳しい事業環境を考慮
- イーピーエス社はCACクロアの持つ強みを存分に活かすことのできる最適な譲渡先と判断

▶ 当第2四半期決算にて、特別利益 2.7億円計上（関係会社株式売却益）

※ 売却価格 30億円に対し、売却時純資産 26.3億円 + 諸手数料等 1.3億円

※株式会社CACクロアは、株式会社EPクロアに商号変更しています。
本件詳細は、2021年4月27日発表の「連結子会社の異動を伴う株式譲渡に関するお知らせ」をご参照ください。

【譲渡の概要】

- ・ 4月27日に開示済、CACクロアをイーピーエス株式会社へ譲渡
- ・ 売却価格は30億円、6月30日に譲渡完了

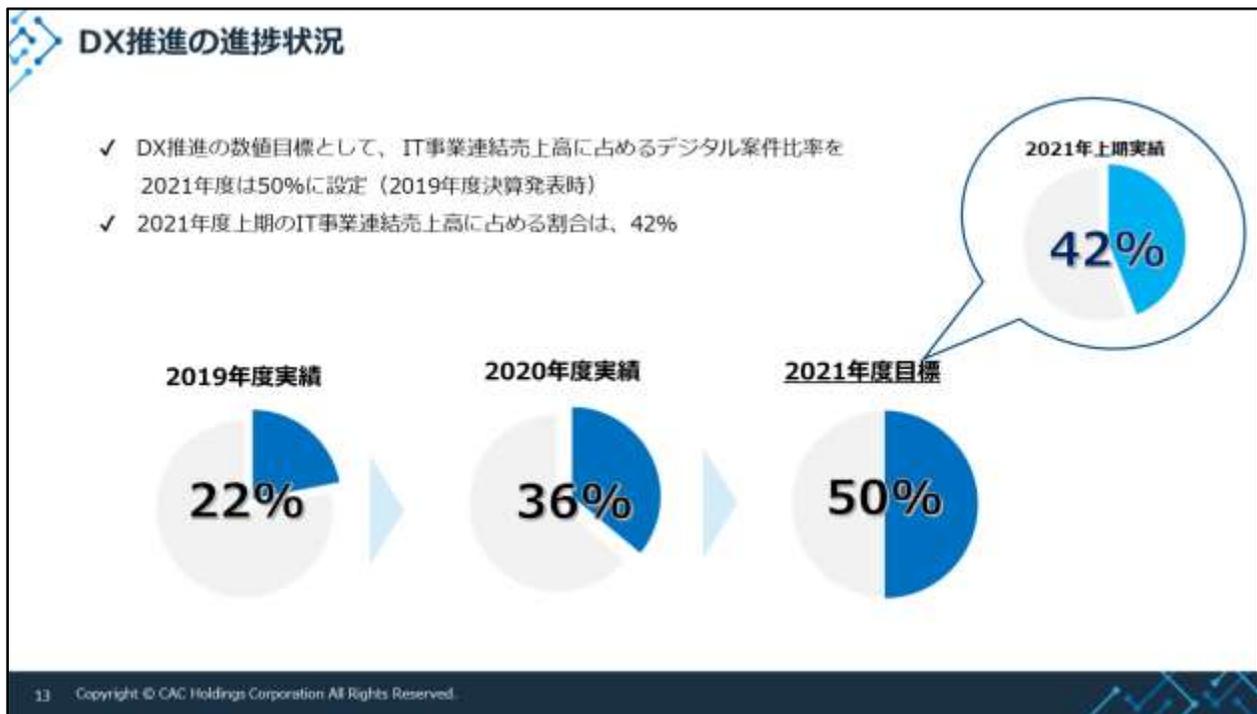
【譲渡理由】

経営資源をコアICTのDX推進に集中させるため。選択と集中という選択をした。CRO事業は業界の厳しい事業環境があり、CRO事業は今期は特需で大きく伸ばしているが、過去2年間は営業赤字となり、苦戦していた。

CROはスケールが効く業界であるが、CACクロアは中途半端なサイズだった。立て直すには相当な経営資源を投入しないといけないことが取締役会で議論を重ねるうえでわかってきた。それを鑑みて経営資源はDXに集中すべきという決断をした。

【特別利益について】

売却価格が30億円で、そこからクロアの売却時の純資産と手数料を引いた額2.7億円を特別利益として計上した。



【DX進捗状況】

- ✓ 中期経営戦略の目標値としてIT事業の連結売上高に占めるデジタル案件比率を2021年の今年度は50%を目指している。
- ✓ 今期（2021年）は上期のIT事業連結売上高に占める割合は42%と進捗している。これは国内ITが好調であることが理由で引き続きDXに力を入れていきたい。

デジタル技術を組み合わせた新サービス開発 ～DXビジネスへの取り組み1～

AI、IoT、ARなどのデジタル技術を組み合わせ、未来を創る新たなサービスや商品の開発を推進



事例：ウォークスルー型
個人別体温測定ソリューション

顔認識AI × サーモグラフィ

顔認識AIを活用し、個人の平均体温
に応じたスクリーニングを実現

健康的な環境作りや人々の幸福にDXで貢献

人手不足や労働生産性問題をDXで解決



【DX取り組み TOPICS紹介1】

- ✓ コロナ禍で建物などに入るときに、体温を測定するが
顔認識とサーモグラフィを組み合わせて特定の人々の体温を測定できるソリューション
- ✓ 当社が推進している人を活かすためのAIの活用（HC Tech）の中で生まれた
サービスの一つ
- ✓ 今後も人の健康などに貢献できるようなサービスを作っていきたいと思っていて
HC Techを推進していく

ブロックチェーンの実用化 ～DXビジネスへの取り組み2～

- SBIグループの外国為替関連事業を行うSBIリクイデティ・マーケット社が外国為替取引における確認情報をブロックチェーン等で行うシステム「BCPostTrade」を開発
- シーエーシーは、「BCPostTrade」のシステム化検討から参画。アジャイル開発による約3か月の短期間開発を行い、実運用・リリースに貢献
 - ▶ 商用システムとしては国内初の事例、1年以上の安定運用を実現
- そのほか、スマートコントラクト保険の実証実験への参画や、社内外での人と人のつながりを可視化できるツールの開発等ノウハウを蓄積



ブロックチェーン技術の実用化で
大手金融機関や企業のDX実現に貢献

【DX取り組み TOPICS紹介2】

- ✓ ブロックチェーンは各社取り組んでいるものの、なかなか PoC（Proof of Concept：概念実証）から先に進めないということが多いが、当社は実用化にこぎつけた
- ✓ ノウハウを蓄積しており、業界でもいいポジションをとれていると自負している
- ✓ 今後もブロックチェーンの実用化で実績が上がったらお知らせしていきたい



DXによる地方創生SDGsへの貢献

～DXビジネスへの取り組み3～

長崎拠点の設立・推進

- 2019年7月長崎県長崎市にBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）サービスの新拠点「長崎BPOセンター」を設立・業務開始
- 2020年7月よりITサービスも開始
- 2021年6月、同年11月に長崎市内に2つ目の事業拠点の開設を発表

➡ 優秀な人材の確保、BCPの面でも有効

雲仙市とデジタル化推進協定締結

- 2021年4月長崎市に地域課題の解決を目指す研究拠点「HCTech AI Lab 長崎」を開設
- 2021年7月長崎県雲仙市とデジタル化推進および観光振興に向けた協定を締結

➡ 地域課題をデジタル技術で解決し、地方創生に貢献



【DX取り組み TOPICS紹介3】

- ✓ 2019年に長崎市にBPOの事業拠点を開設。それをきっかけに長崎県や長崎市など地方自治体の方などつながりができた
- ✓ もともと地方創生など検討していた中で、このようなチャンスに恵まれたので推進していきたいと思っている
- ✓ 4月に雲仙市との協定を結んで、研究拠点も開設

通期業績予想の修正について

通期業績予想修正

- CACクローアの株式譲渡による連結業績への影響および足元の状況を踏まえ、通期業績予想を以下に修正
- 年間配当予想は変更なし

単位：百万円

	修正前 2021年度通期業績予想 (2/14発表)	修正後 2021年度通期業績予想 (本日8/12発表)	差額	参考 2020年度 通期実績	差額
売上高	51,000	47,000	▲4,000	48,539	▲1,539
営業利益	2,600	3,500	+900	1,948	+1,551
経常利益	2,500	3,200	+700	1,909	+1,290
当期純利益	1,700	2,100	+400	1,669	+430
ROE	7.0%	7.8%	+0.8pt	6.6%	+1.2pt
配当	60円	60円	0円	60円	0円

※2021年度中間配当は30円、期末配当は30円を予想

【業績予想の修正】

✓ 本日（2021年8月12日）15時に発表。

✓ 修正前数値と比べて売上高は減少、利益は増加という予想値とした

✓ 予想値の修正に伴い算出した予想ROEは0.8ポイントほど期初の予想より上がっている

内訳は次ページ👉

セグメント別予想

売上高

単位：百万円

	修正前		差額	参考	
	通期業績予想 (2/14発表)	修正後 通期業績予想 (本日8/12発表)		20年通期実績	差額
国内IT	31,500	33,000	+1,500	31,852	+1,147
海外IT	11,000	9,200	▲1,800	9,865	▲665
CRO	8,500	4,800	▲3,700	6,820	▲2,020
合計	51,000	47,000	▲4,000	48,539	▲1,539

	修正前		差額	参考	
	通期業績予想 (2/14発表)	修正後 通期業績予想 (本日8/12発表)		20年通期実績	差額
国内IT	1,900	2,400	+500	1,856	+543
海外IT	450	300	▲150	445	▲145
CRO	250	800	+550	▲353	+1,153
合計	2,600	3,500	+900	1,948	+1,551

セグメント利益

国内IT

- ✓ 堅調な推移により、売上高・利益ともに計画を上回る進捗
- ✓ 下期も好調に推移する見通しのため、予想を上方修正

海外IT

- ✓ インド子会社で業績回復に向けて行っていた事業構造改革がコロナの影響等で遅延
- ✓ 下期も厳しい状況が続くと見込み、下方修正
- ✓ インド以外の子会社は計画通りの見通し

CRO

- ✓ CRO子会社を6月末で株式売却したことに伴い、第2四半期までの実績を通期業績予想値に反映

【売上高予想（期初予想比）】

- ✓ CRO事業は、CACクロアの売却が済んでいるので第2四半期までの業績と期初に想定していた通期業績との差分37億円マイナスとした。
- ✓ 海外IT事業は、インド子会社の業績回復が遅れていて、コロナなどの影響から構造改革も遅れており、下期も影響が出ることから18億円マイナスとした。
- ✓ 国内ITは堅調な推移、受注残もあるように受注環境は好調なのでプラス15億円とした。

→売上高は、トータルで期初予想から40億円のマイナスの470億円とした。

【セグメント利益予想（期初予想比）】

- ✓ CRO事業は、期初、通期で2.5億円のセグメント利益を見込んでいたが、特需があり上期で8億円の利益が上がった。その差分5.5億円をプラスとした。
- ✓ 海外IT事業は、売上同様インド子会社の業績回復が遅れていて、下期も厳しいと見込み1.5億円減少とした。
- ✓ 国内ITは堅調な推移、利益も伸びる見込みであることからプラス5億円を見込んだ。

→営業利益はトータルでプラス9億円の35億円とした。

以上

参考データ

業種別受注高
セグメント別業種別受注高
業種別売上高
セグメント別業種別売上高

業種別受注高

単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	6,792	27.6%	7,503	22.0%	+710	+10.5%
製薬	5,496	22.3%	10,138	29.8%	+4,641	+84.4%
製造	3,830	15.6%	3,981	11.7%	+151	+3.9%
情報・通信	2,461	10.0%	3,699	10.9%	+1,237	+50.3%
サービス業など	6,026	24.5%	8,709	25.6%	+2,682	+44.5%
合計	24,608	100.0%	34,032	100.0%	+9,423	+38.3%

セグメント別業種別受注高

単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	16,468	66.9%	18,843	55.4%	+2,374	+14.4%
金融	5,169	21.0%	5,577	16.4%	+407	+7.9%
製薬	2,370	9.6%	4,574	13.4%	+2,204	+93.0%
製造	2,884	11.7%	3,282	9.6%	+397	+13.8%
情報・通信	1,311	5.3%	1,575	4.6%	+264	+20.1%
サービス業など	4,732	19.2%	3,833	11.3%	▲899	▲19.0%
海外IT	5,171	21.0%	5,977	17.6%	+806	+15.6%
金融	1,622	6.6%	1,926	5.7%	+303	+18.7%
製薬	265	1.1%	187	0.6%	▲78	▲29.4%
製造	934	3.8%	671	2.0%	▲262	▲28.1%
情報・通信	1,102	4.5%	2,100	6.2%	+998	+90.5%
サービス業など	1,245	5.1%	1,092	3.2%	▲153	▲12.4%
CRO	2,968	12.1%	9,211	27.1%	+6,242	+210.3%
製薬	2,860	11.6%	5,375	15.8%	+2,515	+87.9%
製造	12	0.0%	28	0.1%	+16	+132.4%
情報・通信	48	0.2%	23	0.1%	▲24	▲51.5%
サービス業など	47	0.2%	3,784	11.1%	+3,736	—
合計	24,608	100.0%	34,032	100.0%	+9,423	+38.3%

業種別売上高

単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	6,348	26.3%	6,624	25.4%	+275	+4.3%
製薬	5,970	24.7%	7,095	27.2%	+1,124	+18.8%
製造	3,757	15.6%	3,426	13.1%	▲331	▲8.8%
情報・通信	2,614	10.8%	3,202	12.3%	+588	+22.5%
サービス業など	5,448	22.6%	5,734	22.0%	+285	+5.2%
合計	24,139	100.0%	26,082	100.0%	+1,943	+8.0%

セグメント別業種別売上高

単位：百万円

	2020年2Q		2021年2Q		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	16,083	66.6%	16,377	62.8%	+294	+1.8%
金融	5,112	21.2%	5,140	19.7%	+28	+0.6%
製薬	2,485	10.3%	3,533	13.5%	+1,048	+42.2%
製造	2,776	11.5%	2,751	10.5%	▲25	▲0.9%
情報・通信	1,527	6.3%	1,471	5.6%	▲55	▲3.6%
サービス業など	4,182	17.3%	3,480	13.3%	▲702	▲16.8%
海外IT	4,641	19.2%	4,862	18.6%	+221	+4.8%
金融	1,236	5.1%	1,483	5.7%	+247	+20.0%
製薬	191	0.8%	155	0.6%	▲35	▲18.8%
製造	971	4.0%	648	2.5%	▲322	▲33.2%
情報・通信	1,058	4.4%	1,712	6.6%	+654	+61.9%
サービス業など	1,184	4.9%	862	3.3%	▲321	▲27.2%
CRO	3,414	14.1%	4,841	18.6%	+1,427	+41.8%
製薬	3,294	13.6%	3,406	13.1%	+112	+3.4%
製造	9	0.0%	26	0.1%	+16	+173.1%
情報・通信	29	0.1%	18	0.1%	▲11	▲38.3%
サービス業など	81	0.3%	1,391	5.3%	+1,309	—
合計	24,139	100.0%	26,082	100.0%	+1,943	+8.0%



2021年度上期 主要ニュース

参考：主要ニュース(1/3)

2021/2/1	<p>CAC、ウォークスルー型の個人別体表温測定ソリューションを提供開始 ～ 立ち止まらずに、個々人の平均体表温に応じた体表温異常を検知 ～</p> <p>CACは、顔認識AIとサーモグラフィカメラ、および自社開発のアプリケーションを組み合わせ、カメラの前で立ち止まることなく、個人ごとの基準の体表温に応じた体表温スクリーニングを実現するソリューションを提供開始。製造業や物流業、建設業など安全や品質、セキュリティが特に重視される業種に適しており、また、オフィスや病院などでの活用も想定される。</p>
2021/2/3	<p>CACグループ、スポーツ庁より「スポーツエールカンパニー2021」に認定 障害者スポーツ「ポッチャ」の活動等を評価</p> <p>スポーツ庁はCAC Holdingsを4年連続で「スポーツエールカンパニー」に認定。社会貢献活動として取り組んでいる障害者スポーツ「ポッチャ」の普及・支援の一環として本社社屋に常設のポッチャコートで開催している定期的な練習会や、体験会の開催による交流促進、およびオンラインフィットネス実施による在宅勤務時における運動不足解消に向けた活動が評価された。</p>
2021/3/29	<p>CAC、マイクロソフトの「Advanced Specialization」を「Windows Virtual Desktop」分野で取得</p> <p>CACはマイクロソフトのクラウドVDI（仮想デスクトップ基盤）である「Windows Virtual Desktop」分野において「Advanced Specialization」を取得。</p>
2021/3/30	<p>CAC、AWS導入・活用サービスを24時間365日対応に拡充 ～ 有人監視により24時間稼働システムの運用負担を軽減 ～</p> <p>CACは、企業のアマゾン ウェブ サービス導入と活用を支援するサービス「enterpriseCloud+（エンタープライズクラウドプラス）」に「24時間365日運用サービス」を追加。24時間365日の有人監視の提供により、トラブルなどへの迅速な対応を可能にし、24時間稼働が必須なシステムの運用負担を軽減する。</p>

参考：主要ニュース(2/3)

2021/3/31	<p>CACグループがシステムインテグレーター初となる「令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業（支援部門）」に選定</p> <p>CAC Holdingsは、東京都が認定する「令和2年度東京都スポーツ推進企業」319社の中から、特に社会的な影響や波及効果の大きい取り組みをしている企業を表彰した「令和2年度東京都スポーツ推進モデル企業（支援部門）」10社の一つに選定された。モデル企業は「実践部門」と「支援部門」があり、「支援部門」4社中の1社となる。支援部門でシステムインテグレーターが選ばれたのは初。</p>
2021/4/5	<p>CAC、製薬企業の営業向けクラウドサービス「MR-Navi 統合営業支援クラウド」を提供開始 ～ 短期間でのシステム導入と低価格のシステム利用を実現 ～</p> <p>CACは、製薬企業向けの営業支援ソリューションを統合したクラウドサービス「MR-Navi 統合営業支援クラウド」を提供開始。本サービスはマルチテナント型SaaS形態とすることで、導入期間の最小化と低価格をそのコンセプトとしている。</p>
2021/5/11	<p>CAC、三井物産グローバルロジスティクスに顔認識機能付き異常体表温スクリーニングアプリケーションを導入 ～ 毎日の検温の負担低減と高精度な体温管理を実現 ～</p> <p>CACは三井物産グローバルロジスティクス側に、顔認識機能付き異常体表温スクリーニングアプリケーションを導入、稼働を開始。日々の検温の負担低減と、高精度な体温管理を実現している。</p>



参考：主要ニュース(3/3)

2021/6/24	<p>CAC、動物管理システム「PLACT」の機能を拡充 ～ 研究機関の要望に応え遺伝子組換え実験申請機能を追加 ～</p> <p>CACは製薬企業や研究機関向けに提供している動物管理システム「PLACT（プラクト）」の機能として新たに「遺伝子組換え実験申請機能」を開発し、提供開始。「遺伝子組み換え生物」の使用にあたり関連する厳格な業務を適正かつ効率的に行うことへの課題を解決するもの。</p>
2021/6/28	<p>CAC、長崎県内2つ目の事業拠点を2021年11月に開設 ～ BPOサービスの拡大に伴い長崎県内での人材採用を推進 ～</p> <p>CACはビジネスプロセスアウトソーシング（BPO）サービスの拡大に伴い、長崎県内で2つ目となる事業拠点を長崎駅周辺の再開発地区に開設。2019年7月に開設した拠点、本年4月に開設した先端技術で地域課題の解決を目指す研究拠点などを始め、長崎を拠点とする事業を拡大すると同時に、事業を通じた長崎県内の就業機会の創出や人材育成にも貢献する。</p>





お問合せ先

経営企画部 Enterprise Value Upグループ
TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp
<https://www.cac-holdings.com/>

CAC 株式会社 CAC Holdings